

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和4年9月1日(2022.9.1)

【国際公開番号】WO2021/140939
【出願番号】特願2021-570008(P2021-570008)
【国際特許分類】
A 6 1 B 18/14(2006.01)
【FI】
A 6 1 B 18/14

10

【手続補正書】
【提出日】令和4年7月7日(2022.7.7)

【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

電気絶縁性を有し、不活性ガスが通る内部空間を有する管路と、
前記管路の先端に取り付けられ、前記不活性ガスを排出可能に前記内部空間と連通する開口を有する先端チップと、
高周波電流が通電可能であり、前記先端チップ内に配置された電極と、
を備え、
前記管路は、所定の湾曲形状に復元する湾曲部を有し、
前記湾曲部は、先端湾曲部と基端湾曲部とを有し、
前記基端湾曲部と前記先端湾曲部との間には、曲がり癖が付与されていない先端軟性部が配置されている、
処置具。

30

【請求項2】

前記基端湾曲部は、仮想平面に沿って湾曲しており、
前記先端湾曲部は、前記仮想平面と交差する方向に湾曲している、
請求項1に記載の処置具。

【請求項3】

前記基端湾曲部および前記先端湾曲部は、仮想平面に沿って湾曲しており、
前記開口は、前記仮想平面上に位置する
請求項1に記載の処置具。

【請求項4】

前記基端湾曲部の軸方向の長さは、前記先端軟性部の軸方向の長さよりも長い、
請求項1に記載の処置具。

40

【請求項5】

前記基端湾曲部の前記軸方向の前記長さは、前記先端湾曲部の軸方向の長さよりも長い、
請求項4に記載の処置具。

【請求項6】

前記先端湾曲部の曲率は、前記基端湾曲部の曲率より大きい、請求項1に記載の処置具。

【請求項7】

前記先端湾曲部の曲率半径は、前記先端軟性部の軸方向の長さの半分以下である、請求項1に記載の処置具。

【手続補正2】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するために、この発明は以下の手段を提案している。

本発明の第一の態様に係る処置具は、電気絶縁性を有し、不活性ガスが通る内部空間を有する管路と、前記管路の先端に取り付けられ、前記不活性ガスを排出可能に前記内部空間と連通する開口を有する先端チップと、高周波電流が通電可能であり、前記先端チップ内に配置された電極と、を備え、前記管路は、所定の湾曲形状に復元する湾曲部を有し、前記湾曲部は、先端湾曲部と基端湾曲部とを有し、前記基端湾曲部と前記先端湾曲部との間には、曲がり癖が付与されていない先端軟性部が配置されている。

10

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

20

30

40

50